



05 茨城県立中央病院

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター

病院の概要

開設	1956年1月
開設者	茨城県
院長名	島居 徹
病床数	500床（一般475床、結核25床）
標榜科 (36科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科、血液内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、小児科、外科、呼吸器外科、消化器外科、循環器外科、血管外科、心臓血管外科、乳腺外科、整形外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、病理診断科、脳神経外科、麻酔科、精神科、リウマチ科、歯科口腔外科
医師数	158人
指導医数	75人
研修医数	23人
研修医の主な出身大学	自治医科大学、筑波大学、東京大学、秋田大学、旭川医科大学、弘前大学、千葉大学、東京科学大学、富山大学、山梨大学、山口大学、香川大学、愛媛大学、福島県立医科大学、東京医科大学、岩手医科大学、獨協医科大学、杏林大学、帝京大学 ほか
外来患者数	892人
入院患者数	332人
時間外・休日労働時間 上限の適用水準	A水準（2025年4月現在）



応募・問合せ先

筑波大学附属病院 茨城県地域臨床教育センター
茨城県立中央病院

医師教育研修室 鴻巣・田口
〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528
TEL: 0296-77-1121
FAX: 0296-77-2886
E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp
URL: https://www.i-kenshu.jp/



- JR常磐線 ■ JR水戸線
- 友部駅より 徒歩 20分
- バス 5分
- タクシー 5分
- 北関東自動車道 ■ 常磐自動車道
- 友部ICより約15分
- 水戸ICより約20分
- 友部SAスマートICより約10分 (ETC専用)

女性医師支援

女性医師の活躍の場はますます増加しており、女性専用の仮眠室やシャワー室が設置されているほか、妊娠中や育児中の宿日直研修の免除をはじめ、多様な女性医師支援の取り組みがされています。なお、院内保育園（24時間保育）を活用した育児と臨床研修の両立も可能です。



ひまわり保育園 (24時間保育可)

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…応相談
- 問合せ先…担当者：医師教育研修室 井川、鶴井
- TEL: 0296-77-1121 (代表)
- E-mail: kenshu@chubyoin.pref.ibaraki.jp

研修プログラムの特色

- 1 研修医の意志を尊重し、プログラムの自由度を最大限高めることを基本として、研修意欲を引き出す内容としています。
- 2 各研修分野間の垣根が無く、また、各分野とも優れた専門医が在籍し「将来を見据えた」指導を行える体制が整っています。
- 3 自治医科大学、筑波大学、東京大学から毎年研修医を受け入れ、多様性のある、オープンな雰囲気のある臨床研修に臨めます。

研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科(6)						外科(2)			※		
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	地域医療・一般外来		精神科(1)	※			※	※		※		

※予め希望を調査のうえ、次から決定します。
必修科目(救急分野2ヶ月、小児科1ヶ月又は2ヶ月、産婦人科1ヶ月)、自由選択科目(必修科目を含む院内外の研修科目。詳細は研修プログラムを参照)ただし、1年次は院内研修のみとし、2年次の選択科目での院外研修は2ヶ月まで希望することが出来ます。

専門研修の募集について

現在、内科及び外科の基幹施設に認定され、専攻医を募集しているほか、他基幹施設の連携施設としても専攻医を受け入れています。詳細は当院のホームページをご確認ください。

研修・認定施設一覧

- ・**専門研修関係(平成30年度以降研修開始)**
 - 基幹施設
 - 内科専門研修プログラム基幹施設
 - 外科専門研修プログラム基幹施設
 - 連携施設
 - 内科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：水戸協同病院、水戸済生会総合病院、水戸医療センター、ひたちなか総合病院、筑波大学附属病院、東京女子医科大学病院、東京医科大学茨城医療センター、日本赤十字医療センター)
 - 外科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、防衛医科大学校病院、東京大学医学部附属病院、昭和医科大学病院、杏林大学医学部附属病院)
 - 産婦人科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、昭和医科大学病院、亀田総合病院)
 - 小児科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、茨城県立こども病院)
 - 耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 泌尿器科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、国際医療福祉大学病院)
 - 病理科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、東京大学医学部附属病院)
 - 救急科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院)
 - 形成外科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - リハビリテーション科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 皮膚科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 整形外科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：東京大学医学部附属病院、横浜労災病院)
 - 放射線科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 眼科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 脳神経外科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 麻酔科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：筑波大学附属病院)
 - 臨床検査科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：自治医科大学附属病院)
 - 総合診療科専門研修プログラム連携施設
 - (基幹：北茨城市民病院)
- ・**後期研修関係(平成29年度以前研修開始)**
 - 日本外科学会外科専門医制度修練施設
 - 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 - 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・**その他**
 - 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
 - 日本整形外科学会認定専門医制度研修施設
 - 日本形成外科学会認定施設
 - 日本救急医学会救急科専門医指定施設
 - 日本麻酔学会麻酔科認定病院
 - 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 - 日本眼科学会専門医制度研修施設
 - 日本病理学会病理専門医制度認定施設B
 - 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
 - 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 - 日本臨床細胞学会認定施設・教育研修施設
 - 日本がん治療認定医機構認定研修施設
 - 日本肝胆膵外科学会認定高度技能医修練施設A
 - 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
 - 日本脈管学会認定研修指定施設
 - 日本透視医学会専門医制度教育関連施設
 - 日本放射線腫瘍学会認定施設
 - 日本IVR学会専門医修練認定施設
 - 日本臨床栄養代謝学会栄養サポートチーム専門療法士認定規則実地修練認定教育施設
 - 日本腎臓学会認定教育施設
 - 日本糖尿病学会認定教育施設
 - 日本肝臓学会認定施設
 - 日本臨床遺伝専門医制度研修施設
 - 遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹施設
 - 日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
 - 日本産科婦人科内視鏡学会ロボット手術認定研修施設
 - ・**その他施設**
 - JCOG婦人科腫瘍グループ参加施設
 - JCOG肺がん外科グループ参加施設
 - JCOG消化器内視鏡グループ参加施設
 - JCOG乳がんグループ参加施設

病院からメッセージ



研修管理委員長
鈴木 保之 医療教育局長

当院の臨床研修では、総合診療、プライマリ・ケア、救急対応の基本的な知識・技能が身につくことを目標にし、上級医によるマンツーマンの指導が行われています。臨床研修の2年間は医師としての基礎を築く重要な時期ですが、当院では、やる気さえあれば多くの症例を経験することができ、またカンファレンス、レジデント・レクチャー等様々な教育プログラムが用意されていますので、同時に考える力を養うこともできます。他の施設、特に大学病院では経験できない素晴らしい研修の機会がここには用意されています。2年間の研修で、今後の医師としてのキャリアの基礎になる真の実力、高い現場対応能力を養いましょう。



研修医 東 万祐花

私は筑波大学の出身で、当院には学生実習で初めて訪れました。併せて2回、循環器内科と膠原病・リウマチ科にお世話になりました。初めての外病院での実習だったため、とても緊張しましたが、関わってくださった皆さんがいつも笑顔でしたので、少しずつ緊張がほぐれたことを思い出します。指導医の先生方も、どのような小さなことでも熱心に教えてくださいました。私のなかで「相談しやすい環境」というのはとても大切なことでしたので、この温かな雰囲気によって当院での臨床研修を目指すようになりました。この2年を振り返ってみると、実際にどの診療科も垣根が低く、当初に感じたとおりだったと思っています。社会人経験が未熟ななか、各診療科の先生をはじめ、医療スタッフの皆さんや事務部門の皆さんにも、いつも優しく、時には厳しくご指導をいただき、様々な面から患者さんを診る姿勢を育むことができたと感じています。